



RICOH MP CW2201/CW1201 シリーズ

使用説明書 〈ドライバーインストールガイド〉

目次

1. はじめに

使用する環境にソフトウェアをインストールする.....	3
CD-ROM 収録ソフトウェア.....	6
プリンタードライバー.....	6
TWAIN ドライバー.....	8
OS X で使用するときの注意.....	9
英語環境で使用する時の注意.....	10

2. プリンタードライバーをインストールする

接続方法を確認する.....	13
ネットワーク接続で使用する.....	13
ローカル接続で使用する.....	14
おすめインストールでインストールする.....	15
ネットワーク接続環境でプリンタードライバーをインストールする.....	17
ポートを指定してインストールする.....	17
Windows プリントサーバーを使用する.....	24
USB 接続環境でプリンタードライバーをインストールする.....	27
Windows Server 2003/2003 R2.....	27
Windows Vista、Windows Server 2008.....	28
Windows 7/8/8.1/10、Windows Server 2008 R2/2012/2012 R2.....	28
オプション構成や用紙の設定をする.....	30
双方向通信を有効にする.....	30
手動でオプション構成や用紙を設定する.....	30
HDI ドライバーをインストールする.....	35

3. スキャナードライバーをインストールする

TWAIN ドライバーをインストールする.....	37
TWAIN 対応アプリケーションをインストールする.....	38

4. 困ったときは

インストールに失敗したとき.....	39
USB 接続がうまくいかないとき.....	41

5. OS X にプリンタードライバーをインストールする

PPD ファイルをインストールする.....	43
プリンターを登録する.....	45
オプション構成を設定する.....	46

6. 付録

ドライバーを更新・削除する.....	47
ドライバーを更新する.....	47
ドライバーを削除する.....	49
商標.....	52
索引.....	55

1. はじめに

付属の CD-ROM に収録されているソフトウェアについて説明します。
使用する機種によって、使用できる機能やソフトウェアが異なります。

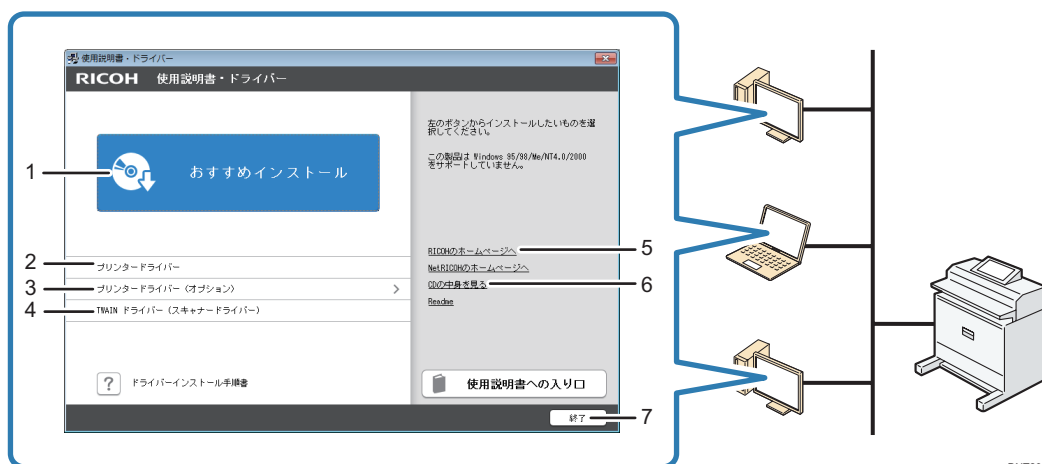
1

使用する環境にソフトウェアをインストールする

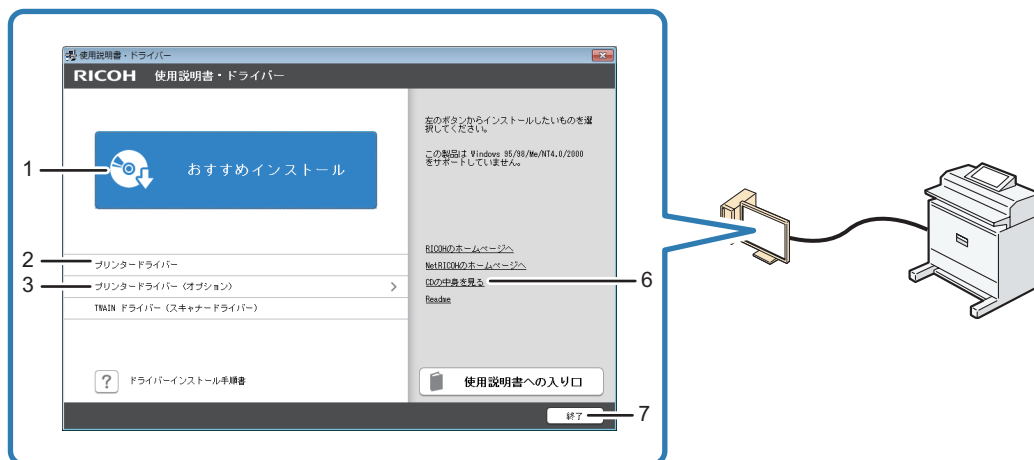
本機とコンピューターを接続し、プリンターやスキャナー機能を使用するには、付属の CD-ROM から各種ソフトウェアのインストールが必要です。

付属の CD-ROM を使用するコンピューターにセットすると、インストーラーが自動的に起動（オートラン）し、各種ソフトウェアをインストールできます。

ネットワーク接続



USB 接続



DNT201

1. おすすめインストール

RPCS プリンタードライバーのインストールと同時に、本機との接続設定をします。
詳しくは、P.15 「おすすめインストールでインストールする」を参照してください。

2. プリンタードライバー

RPCS プリンタードライバーと RP-GL/2 プリンタードライバーをインストールします。
詳しくは、P.17 「ネットワーク接続環境でプリンタードライバーをインストールする」または P.27 「USB 接続環境でプリンタードライバーをインストールする」を参照してください。

3. プリンタードライバー (オプション)

オプションの PostScript 3 プリンタードライバーをインストールします。詳しくは、以下を参照してください。

P.17 「ネットワーク接続環境でプリンタードライバーをインストールする」

P.27 「USB 接続環境でプリンタードライバーをインストールする」

4. TWAIN ドライバー (スキャナードライバー)

TWAIN 対応のアプリケーションから直接画像を読み込める TWAIN ドライバー (スキャナードライバー) をインストールします。

詳しくは、P.37 「TWAIN ドライバーをインストールする」を参照してください。

5. RICOH のホームページへ

Web ブラウザーを起動し、リコーホームページが表示されます。

最新版のプリンタードライバーを入手できます。

URL <http://www.ricoh.co.jp/>

6. CD の中身を見る

エクスプローラーを起動し、CD-ROM のフォルダー構成が表示されます。

7. 終了

インストーラーを終了します。

↓ 補足

- オートランプログラムを使用してインストールするときは、管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。アクセス権の詳細は、Windows のヘルプを参照してください。
- OS の設定によっては、オートランプログラムが起動しないことがあります。そのときは、CD-ROM のルートディレクトリにある「Setup.exe」を起動してください。

CD-ROM 収録ソフトウェア

付属の CD-ROM「使用説明書・ドライバ」に収録されているドライバやソフトウェアについて説明します。

↓ 補足

- 対象 OS の最新情報は、CD-ROM のルートディレクトリにある「Readme.txt」ファイルを参照してください。
- Windows ターミナルサービスおよび Citrix XenApp/XenDesktop の最新情報は、リコーホームページを参照してください。

プリンタードライバ

プリンターから印刷するのに必要なドライバです。以下のプリンタードライバやソフトウェアは付属の CD-ROM に収録されています。

OS *1	プリンター言語		
	RPCS	RP-GL/2	PostScript 3
Windows Vista *2	○	○	○
Windows 7 *3	○	○	○
Windows 8 *4	○	○	○
Windows 8.1 *5	○	○	○
Windows 10 *6	○	○	○
Windows Server 2003 *7	○	○	○
Windows Server 2008 *8	○	○	○
Windows Server 2012 *9	○	○	○
OS X *10	-	-	○

*1 32/64bit の Windows OS に対応しています。

*2 Windows Vista Ultimate/Enterprise/Business/Home Premium/Home Basic

*3 Windows 7 Home Premium/Professional/Ultimate/Enterprise

*4 Windows 8/Pro/Enterprise

*5 Windows 8.1/Pro/Enterprise

*6 Windows 10 Home/Pro/Enterprise/Education

*7 Windows Server 2003 Standard Edition/Enterprise Edition、Windows Server 2003 R2 Standard Edition/Enterprise Edition

*8 Windows Server 2008 Standard/Enterprise、Windows Server 2008 R2 Standard/Enterprise

*9 Windows Server 2012 Foundation/Essentials/Standard、Windows Server 2012 R2 Foundation/Essentials/Standard

*10 OS X 10.7 以降

RPCS ドライバー

高度なグラフィックス処理ができる Windows 環境に最適化されたプリンタードライバーです。多彩な機能とシンプルな操作性を提供します。

RP-GL/2 ドライバー (CAD 用)

- RP-GL/2 モードを使用して印刷するためのプリンタードライバーです。本ドライバーは CAD アプリケーションでの使用を目的としており、ワードプロセッサや表計算、フォトレタッチ、ドローイング系などのアプリケーションでは使用できません。
- RP-GL/2 ドライバーは、ドライバーでの設定が操作部の設定よりも優先されます。
- CAD アプリケーション独自のドライバーを使用するときは、操作部で印刷条件を設定してください。印刷条件の設定方法は、『RP-GL/2&RTIFF』「印刷条件を設定する」を参照してください。

HDI ドライバー (CAD 用)

- HDI ドライバーは、CAD アプリケーションソフト AutoCAD シリーズで作成した図面ファイルを印刷するための専用ドライバーです。HDI ドライバーを使用すると、出力時に作成されるデータ量が減少し、高速に出力できます。
- HDI ドライバーは AutoCAD アプリケーションが起動している環境での使用を前提としています。事前に AutoCAD シリーズがインストールされている必要があります。
- 対応 AutoCAD アプリケーション
AutoCAD 2007、AutoCAD LT 2007、AutoCAD 2008 (32bit/64bit)、AutoCAD LT 2008、AutoCAD 2009 (32bit/64bit)、AutoCAD LT 2009 (32bit/64bit)、AutoCAD 2010 (32bit/64bit)、AutoCAD LT 2010 (32bit/64bit)、AutoCAD 2011 (32bit/64bit)、AutoCAD LT 2011 (32bit/64bit)、AutoCAD 2012 (32bit/64bit)、AutoCAD LT 2012 (32bit/64bit)、AutoCAD 2013 (32bit/64bit)、AutoCAD LT 2013 (32bit/64bit)、AutoCAD 2014 (32bit/64bit)、AutoCAD LT 2014 (32bit/64bit)、AutoCAD 2015 (32bit/64bit)、AutoCAD LT 2015 (32bit/64bit)

PostScript 3 ドライバー

- 本ドライバーを使用すると、プリンターを PostScript プリンターとして使用できます。Windows OS 用と OS X 用のドライバーを用意しています。
- OS X 用の PostScript 3 ドライバーは、QuickDraw GX には対応していません。QuickDraw GX の機能を外して使用してください。

↓ 補足

- プリンタードライバーのインストール方法は、P.17「ネットワーク接続環境でプリンタードライバーをインストールする」、P.27「USB 接続環境でプリンタードライバーをインストールする」を参照してください。
- 使用するコンピューターの Windows OS が、32bit または 64bit のどちらなのかを確認する方法は、Microsoft のホームページを参照してください。

TWAIN ドライバー

スキャナーから原稿を読み取るために必要なドライバーです。本機をネットワーク TWAIN スキャナーとして使用するために、インストールが必要です。

格納場所

~~X86\DRIVERS\TWAIN~~

対象 OS *1

Microsoft Windows Vista/7/8/8.1/10 日本語版/英語版

Microsoft Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2/2012/2012 R2 日本語版/英語版

*1 64bit の Windows OS では、32bit の互換モードで動作します。

↓ 補足

- TWAIN ドライバーのインストール方法は、P.37「TWAIN ドライバーをインストールする」を参照してください。
- 使用するコンピューターの Windows OS が 32bit または 64bit のどちらなのかを確認する方法は、Microsoft のホームページを参照してください。

OS X で使用するときの注意

OS X 環境では本機の各機能に、以下の制約があります。

- スキャナー機能では、TWAIN ドライバーは使用できません。
- プリンター機能では、OS X 用の PostScript 3 プリンタードライバーを使用します。詳しくは、P.43 「OS X にプリンタードライバーをインストールする」を参照してください。

英語環境で使用する時の注意

英語版 Windows 環境で、インストールしたドライバーまたはソフトウェアを使用できます。本機を使用する前に、下記の注意事項ならびにプリンタードライバーに付属の「Readme.txt」 ファイルをよく読んでください。

★ 重要

- RPCS プリンタードライバーは英語環境に対応しています。PostScript 3 プリンタードライバーは日本語環境だけに対応しています。

動作環境

- Microsoft Windows Vista English
- Microsoft Windows 7 English
- Microsoft Windows 8 English
- Microsoft Windows 8.1 English
- Microsoft Windows 10 English
- Microsoft Windows Server 2003 English
- Microsoft Windows Server 2003 R2 English
- Microsoft Windows Server 2008 English
- Microsoft Windows Server 2008 R2 English
- Microsoft Windows Server 2012 English
- Microsoft Windows Server 2012 R2 English

使用にあたっての注意事項

- 接続環境

推奨ケーブルによるセントロニクス/USB 接続、もしくは OS 標準ポートや共有ポートでの出力をサポートしています。

また、ネットワークダイレクト印刷をサポートする以下のユーティリティー経由での出力は動作保証外です。注意してください。

- Multi Direct Print
 - Port Navi
 - Ridoc Desk Navigator-Ridoc IO Navi
- プリンタードライバーのインストール方法

英語版 Windows 環境へのインストール方法は、以下のとおりです。

- USB 接続のときは Plug&Play
 - その他のときは [Add a Printer] または [Add Printer]
- プリンタードライバーの機能について

日本国内機種または海外機種用のユーティリティー・ソフトウェアには対応していません。また、海外機種用のドライバーでは、日本国内機種への印刷はサポートしていません。本ドライバーでは、TrueType フォントをプリンター内蔵フォントに置換する機能はサポートしていません。

- お客様サポート

お問い合わせは、日本語だけに対応しています。

2. プリンタードライバーをインストールする

プリンタードライバーのインストール方法を説明します。

本書では特にことわりのないかぎり、Windows 7 を例に説明します。

2

接続方法を確認する

本機は、ネットワーク接続またはローカル接続ができます。プリンタードライバーをインストールする前に、本機をどのように接続したかを確認します。

使用する接続方法でのインストール方法を参照し、プリンタードライバーをインストールしてください。

ネットワーク接続で使用する

ネットワーク接続では、Windows の印刷ポートを使用して本機へダイレクト印刷（Peer-to-Peer ネットワーク）、またはサーバーを使用してクライアントから印刷するネットワークプリンターとして本機を使用します。

Windows の印刷ポートを使用する

使用する Windows によって使用できるポートが異なります。インターフェースは、イーサネットまたは無線 LAN を使用します。

Windows Server 2003/2003 R2

接続方法	使用できるポート
<ul style="list-style-type: none">イーサネット無線 LAN	<ul style="list-style-type: none">Standard TCP/IP ポート（IPv4 環境で使用可）IPP ポートLPR ポートRidoc IO Navi ポート（TCP/IP、IPP）

Windows Vista/7/8/8.1/10、Windows Server 2008/2008 R2/2012/2012 R2

接続方法	使用できるポート
<ul style="list-style-type: none">イーサネット無線 LAN	<ul style="list-style-type: none">Standard TCP/IP ポートIPP ポートLPR ポートRidoc IO Navi ポート（TCP/IP、IPP）

↓ 補足

- ポートを指定してドライバーをインストールする方法は、P.17「ポートを指定してインストールする」を参照してください。

プリントサーバーを使用する

本機は Windows プリントサーバーを、ネットワークプリンターとして使用できます。

クライアントの OS	使用できるサーバー
<ul style="list-style-type: none">• Windows Vista• Windows 7• Windows 8• Windows 8.1• Windows 10• Windows Server 2003/2003 R2• Windows Server 2008/2008 R2• Windows Server 2012/2012 R2	<ul style="list-style-type: none">• Windows Vista プリントサーバー• Windows 7 プリントサーバー• Windows 8 プリントサーバー• Windows 8.1 プリントサーバー• Windows 10 プリントサーバー• Windows Server 2003/2003 R2 プリントサーバー• Windows Server 2008/2008 R2 プリントサーバー• Windows Server 2012/2012 R2 プリントサーバー

↓ 補足

- プリントサーバーを使用したドライバーのインストール方法は、P.24「Windows プリントサーバーを使用する」を参照してください。

ローカル接続で使用する

ローカル接続は、USB 接続だけに対応しています。

↓ 補足

- USB 接続によるドライバーのインストール方法は、P.27「USB 接続環境でプリンタードライバーをインストールする」を参照してください。

おすすめインストールでインストールする

「おすすめインストール」は、プリンタードライバーのインストールと、本機への接続が簡単に設定できます。本機が TCP/IP を使用しているネットワークに接続されていて、IP アドレスが設定されているときは、RPCS プリンタードライバーのインストールと同時に、ポートの設定をするので、とても便利です。ポートは Standard TCP/IP ポートが設定されます。

★重要

- 管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。

1. インストーラー画面で【おすすめインストール】をクリックします。
2. 「使用許諾」ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意するときは【同意します】を選択し、【次へ】をクリックします。
3. 【次へ】をクリックします。
4. おすすめインストールをする機種を選択します。
5. 【インストール】をクリックします。
6. ポートの設定画面が表示されたときは、ポートを設定して【次へ】をクリックします。
7. 必要に応じて、ユーザーコードや通常使用するプリンター、共有プリンターを設定します。
8. 【完了】をクリックします。
インストールを開始します。
9. 【プリンタードライバーの導入】ダイアログでファイルのコピーが完了したら、【OK】をクリックします。
10. 【オプション構成】タブで機器のオプション構成や用紙を設定します。
インストール後でもオプション構成や用紙の設定はできます。詳しくは、P.30「オプション構成や用紙の設定をする」を参照してください。
11. 設定が完了したら、【OK】をクリックします。
12. インストールが完了したら、【完了】をクリックします。

↓補足

- ドライバーのインストール中に、【ユーザーアカウント制御】ダイアログが表示されたときは、【続行】または【はい】をクリックします。
- ドライバーのインストール中に、【Windows セキュリティ】ダイアログが表示されたときは、【このドライバー ソフトウェアをインストールします】をクリックします。

- Windows 8/8.1/10 または Windows Server 2012/2012 R2 のときは、[自動再生] ダイアログが数秒間しか表示されません。[自動再生] ダイアログが消えたときは、以下の手順で CD-ROM を再生してください。

- Windows 8、Windows Server 2012

1. チャームバーで [検索] をクリックし、[コンピューター] をクリックします。
2. 付属の CD-ROM がセットされているドライブをダブルクリックし、Setup.exe を起動します。

- Windows 8.1、Windows Server 2012 R2

1. デスクトップ画面で [スタート] ボタンを右クリックし、[エクスプローラー] をクリックします。
2. 付属の CD-ROM がセットされているドライブをダブルクリックし、Setup.exe を起動します。

- Windows 10

1. デスクトップ画面で [スタート] ボタンを右クリックし、[エクスプローラー] をクリックします。
1. 付属の CD-ROM がセットされているドライブをダブルクリックし、Setup.exe を起動します。

ネットワーク接続環境でプリンタードライバーをインストールする

★重要

- 管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。

↓補足

- ドライバーのインストール中に、[ユーザーアカウント制御] ダイアログが表示されたときは、[続行] または [はい] をクリックします。
- ドライバーのインストール中に、[Windows セキュリティ] ダイアログが表示されたときは、[このドライバー ソフトウェアをインストールします] をクリックします。
- 「新しいドライバーが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」というメッセージが表示されたときは、P.39 「インストールに失敗したとき」を参照してください。

ポートを指定してインストールする

ポートを指定してプリンタードライバーをインストールします。使用するポートでのインストール方法をお読みください。

★重要

- Ridoc IO Navi ポートを使用するには Ridoc Desk Navigator が必要です。詳しくは、『本機のご利用にあたって』「ダウンロードできるソフトウェア」を参照してください。

ポートの種類	ドライバーの種類	参照先
Standard TCP/IP ポート	RPCS RP-GL/2 PS3	P.17 「Standard TCP/IP ポートを使用する」
IPP ポート	RPCS RP-GL/2 PS3	P.19 「IPP ポートを使用する」
LPR ポート	RPCS RP-GL/2 PS3	P.21 「LPR ポートを使用する」
Ridoc IO Navi ポート	RPCS RP-GL/2 PS3	P.22 「Ridoc IO Navi ポートを使用する」

Standard TCP/IP ポートを使用する

RPCS RP-GL/2 PS3

1. インストーラー画面でインストール実行ボタンをクリックします。
RPCS、RP-GL/2 ドライバーは [プリンタードライバー] をクリックします。
PostScript 3 ドライバーは、[プリンタードライバー (オプション)] をクリックし、目的のドライバーをクリックします。
2. [使用許諾] ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意するときは [同意します] を選択し、[次へ] をクリックします。
3. 使用する機器のチェックボックスにチェックを付けます。
4. [ポート:] を選択し、[ポート] の設定の変更にある [追加] をクリックします。
5. 「Standard TCP/IP Port」を選択し、[OK] をクリックします。
「Standard TCP/IP Port」が表示されないときは、Windows のヘルプを参照して Standard TCP/IP ポートを設定します。
6. 「標準 TCP/IP プリンターポートの追加ウィザードの開始」画面で、[次へ] をクリックします。
7. [プリンター名または IP アドレス] ボックスに機器名または本機のアドレスを入力し、[次へ] をクリックします。
デバイスの種類を選択する画面が表示されたときは、「RICOH Network Printer C Model」を選択します。
8. 「標準 TCP/IP プリンターポートの追加ウィザードの完了」画面で、[完了] をクリックします。
9. [ポート:] に設定したポートが表示されていることを確認します。
10. 必要に応じて、ユーザーコードや通常使用するプリンター、共有プリンターを設定します。
11. [完了] をクリックします。
インストールを開始します。
[プリンタードライバー (オプション)] からインストールしたときは、ここでインストールが完了します。
12. [プリンタードライバーの導入] ダイアログでファイルのコピーが完了したら、[OK] をクリックします。
13. [オプション構成] タブで機器のオプション構成や用紙を設定します。
インストール後でもオプション構成や用紙の設定はできます。詳しくは、P.30 「オプション構成や用紙の設定をする」を参照してください。
14. 設定が完了したら、[OK] をクリックします。

15. インストールが完了したら、パソコンを再起動させるタイミングを選択し、[完了] をクリックします。

↓ 補足

- Windows 8/8.1/10 または Windows Server 2012/2012 R2 のときは、[自動再生] ダイアログが数秒間しか表示されません。[自動再生] ダイアログが消えたときは、以下の手順で CD-ROM を再生してください。
 - Windows 8、Windows Server 2012
 1. チャームバーで [検索] をクリックし、[コンピューター] をクリックします。
 2. 付属の CD-ROM がセットされているドライブをダブルクリックし、Setup.exe を起動します。
 - Windows 8.1、Windows Server 2012 R2
 1. デスクトップ画面で [スタート] ボタンを右クリックし、[エクスプローラー] をクリックします。
 2. 付属の CD-ROM がセットされているドライブをダブルクリックし、Setup.exe を起動します。
 - Windows 10
 1. デスクトップ画面で [スタート] ボタンを右クリックし、[エクスプローラー] をクリックします。
 2. 付属の CD-ROM がセットされているドライブをダブルクリックし、Setup.exe を起動します。

IPP ポートを使用する

RPCS RP-GL/2 PS3

★ 重要

- IPP-SSL 経由で印刷をするときは、Ridoc IO Navi ポートを使用してください。
- Windows Vista/7/8/8.1/10 または Windows Server 2008/2008 R2/2012/2012 R2 を使用するとき、IPP-SSL 経由で印刷する場合は、IPP ポートでプリンタードライバーをインストールする前に、パソコンに機器の証明書をインストールしてください。詳細は『セキュリティガイド』を参照してください。

1. [スタート] ボタンから [デバイスとプリンター] をクリックします。

Windows 8/8.1 または Windows Server 2012/2012 R2 のときは、デスクトップ画面のチャームバーで [設定] をクリックし、[コントロールパネル] をクリックします。[コントロールパネル] ウィンドウが表示されたら、[デバイスとプリンターの表示] をクリックします。

Windows 10 のときは、[スタート] ボタンを右クリックし、[コントロールパネル] をクリックします。[コントロールパネル] ウィンドウが表示されたら、[デバイスとプリンターの表示] をクリックします。

2. [プリンターの追加] をクリックします。

Windows 8/8.1/10 または Windows Server 2012/2012 R2 のときは、手順 4 に進みます。

3. [ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンターを追加します] を選択します。

4. [探しているプリンターはこの一覧にはありません] をクリックします。

Windows 10 のときは、[プリンターが一覧にない場合] をクリックします。

5. [共有プリンターを名前を選択する] を選択し、ボックスに「http://（本機の IP アドレス）/printer」または「http://（本機の IP アドレス）/ipp」と入力します。

6. [次へ] をクリックします。

7. [ディスク使用...] をクリックします。

8. [参照] をクリックし、ドライバーの収録先を指定します。

ここではドライバーの INF ファイルを指定します。

CD-ROM ドライブが D:¥のときは、以下のフォルダーに収録されています。

- RPCS
32bit 版 D:¥X86¥DRIVERS¥RPCS¥X86¥DISK1
64bit 版 D:¥X64¥DRIVERS¥RPCS¥X64¥DISK1
- RP-GL/2
32bit 版 D:¥X86¥DRIVERS¥RPGL2¥X86¥DISK1
64bit 版 D:¥X64¥DRIVERS¥RPGL2¥X64¥DISK1
- PostScript 3
32bit 版 D:¥X86¥DRIVERS¥PS¥X86¥DISK1
64bit 版 D:¥X64¥DRIVERS¥PS¥X64¥DISK1

9. [OK] をクリックします。

10. [プリンターの追加ウィザード] でインストールするプリンタードライバーを選択し、[OK] をクリックします。

11. [次へ] をクリックします。

12. 必要に応じて、選択したプリンターを通常使用するプリンターに設定し、[完了] をクリックします。

LPR ポートを使用する

RPCS RP-GL/2 PS3

1. インストーラー画面でインストール実行ボタンをクリックします。

RPCS、RP-GL/2 ドライバーは [プリンタードライバー] をクリックします。

PostScript 3 ドライバーは、[プリンタードライバー (オプション)] をクリックし、目的のドライバーをクリックします。

2. [使用許諾] ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意するときは [同意します] を選択し、[次へ] をクリックします。

3. 使用する機器のチェックボックスにチェックを付けます。

4. [ポート:] を選択し、[ポート'の設定の変更] にある [追加] をクリックします。

5. 「LPR Port」を選択し、[OK] をクリックします。

「LPR Port」が表示されないときは、Windows のヘルプを参照して LPR ポートを設定します。

6. [LPD を提供しているサーバーの名前またはアドレス:] ボックスに、本機の IP アドレスを入力します。

7. [サーバーのプリンター名または印刷キュー:] ボックスに「lp」と入力し、[OK] をクリックします。

8. [ポート:] に「(本機の IP アドレス) :lp」が表示されていることを確認します。

9. 必要に応じて、ユーザーコードや通常使用するプリンター、共有プリンターを設定します。

10. [完了] をクリックします。

インストールを開始します。

[プリンタードライバー (オプション)] からインストールしたときは、ここでインストールが完了します。

11. [プリンタードライバーの導入] ダイアログでファイルのコピーが完了したら、[OK] をクリックします。

12. [オプション構成] タブで機器のオプション構成や用紙を設定します。

インストール後でもオプション構成や用紙の設定はできます。詳しくは、P.30 「オプション構成や用紙の設定をする」を参照してください。

13. 設定が完了したら、[OK] をクリックします。

14. インストールが完了したら、パソコンを再起動させるタイミングを選択し、[完了] をクリックします。

↓ 補足

- Windows 8/8.1/10 または Windows Server 2012/2012 R2 のときは、[自動再生] ダイアログが数秒間しか表示されません。[自動再生] ダイアログが消えたときは、以下の手順で CD-ROM を再生してください。
 - Windows 8、Windows Server 2012
 1. チャームバーで [検索] をクリックし、[コンピューター] をクリックします。
 2. 付属の CD-ROM がセットされているドライブをダブルクリックし、Setup.exe を起動します。
 - Windows 8.1、Windows Server 2012 R2
 1. デスクトップ画面で [スタート] ボタンを右クリックし、[エクスプローラー] をクリックします。
 2. 付属の CD-ROM がセットされているドライブをダブルクリックし、Setup.exe を起動します。
 - Windows 10
 1. デスクトップ画面で [スタート] ボタンを右クリックし、[エクスプローラー] をクリックします。
 2. 付属の CD-ROM がセットされているドライブをダブルクリックし、Setup.exe を起動します。

Ridoc IO Navi ポートを使用する

RPCS RP-GL/2 PS3

1. インストーラー画面でインストール実行ボタンをクリックします。

RPCS、RP-GL/2 ドライバーは [プリンタードライバー] をクリックします。

PostScript 3 ドライバーは、[プリンタードライバー (オプション)] をクリックし、目的のドライバーをクリックします。

2. [使用許諾] ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意するときは [同意します] を選択し、[次へ] をクリックします。

3. 使用する機器のチェックボックスにチェックを付けます。

4. [ポート:] を選択し、[ポート'の設定の変更] にある [追加] をクリックします。

5. 「Ridoc IO Navi」を選択し、[OK] をクリックします。

6. TCP/IP を使用して設定するときは、[プロトコル選択] から [TCP/IP] を選択し、[機器検索] をクリックします。

TCP/IP プロトコルで印刷できるプリンターが検索され、一覧表示されます。

IPP を使用して設定するときは、手順 8 に進みます。

7. 本機を選択し、[OK] をクリックします。

表示されないプリンターに印刷するときは、[アドレス指定] をクリックします。本機の IP アドレスまたはホスト名を直接入力し、[OK] を 2 回クリックします。

設定後、手順 13 に進みます。

8. IPP を使用して設定するときは、[プロトコル選択] から [IPP] を選択します。

9. [プリンタの URL] に「http:// (本機の IP アドレス) /printer」または「http:// (本機の IP アドレス) /ipp」を入力します。

SSL (暗号化通信) の設定を有効にしているとき、「https:// (本機のアドレス) /printer」と入力します。使用するパソコンに Internet Explorer のインストールが必要です。Internet Explorer 6.0 以降で利用できます。使用するときは、最新のバージョンでの使用を推奨します。

10. 必要に応じて [IPP ポート名] に機器を区別するための名前を入力します。すでにある、ほかの IPP ポート名と異なる名前を入力してください。

11. プロキシサーバーや IPP ユーザー名などの設定をするときは、[詳細設定] をクリックし、必要な項目を設定し、[OK] をクリックします。

詳しい設定項目は、Ridoc IO Navi のヘルプを参照してください。

12. [OK] をクリックします。

13. [ポート:] に選択したプリンターのポートが表示されていることを確認します。

14. 必要に応じて、ユーザーコードや通常使用するプリンター、共有プリンターを設定します。

15. [完了] をクリックします。

インストールを開始します。

[プリンタードライバー (オプション)] からインストールしたときは、ここでインストールが完了します。

16. [プリンタードライバーの導入] ダイアログでファイルのコピーが完了したら、[OK] をクリックします。

17. [オプション構成] タブで機器のオプション構成や用紙を設定します。

インストール後でもオプション構成や用紙の設定はできます。詳しくは、P.30 「オプション構成や用紙の設定をする」を参照してください。

18. 設定が完了したら、[OK] をクリックします。

19. インストールが完了したら、パソコンを再起動させるタイミングを選択し、[完了] をクリックします。

Ridoc IO Navi ポートの設定を変更する

TCP/IP のタイムアウト、代行印刷や並行印刷、プリンターグループなど、Ridoc IO Navi の設定を変更できます。ここでは Windows 7 を例に説明します。

1. [スタート] ボタンから [デバイスとプリンター] をクリックします。
2. 印刷するプリンターのアイコンを右クリックし、表示されたメニューから [プリンターのプロパティ] をクリックします。
3. [ポート] タブをクリックし、[ポートの構成...] をクリックします。
4. 「ポートの構成」画面で設定を変更し、[OK] をクリックします。

↓ 補足

- 印刷通知、代行印刷/並行印刷は Ridoc IO Navi の拡張機能設定で設定します。設定は Ridoc IO Navi ポートで TCP/IP のときに有効です。拡張機能設定をするには、Ridoc IO Navi が起動している状態でタスクトレイの Ridoc IO Navi アイコンを右クリックします。[プロパティ] をポイントし、表示されたメニューから [拡張機能設定] を選択してください。
- [代行印刷/並行印刷] はポートごとに設定できます。設定するには、Ridoc IO Navi が起動している状態でタスクトレイの Ridoc IO Navi アイコンを右クリックします。[プロパティ] をポイントし、表示されたメニューから [拡張機能設定] を選択して [代行/並行印刷をポート毎に設定する] にチェックを付けます。
- IPP のとき、IPP ユーザー設定、プロキシ設定、タイムアウト設定ができます。
- 設定方法は、Ridoc IO Navi のヘルプを参照してください。

Windows プリントサーバーを使用する

★ 重要

- プリンタードライバーをインストールする前に、プリントサーバーを正しく設定してください。詳しくは、『ネットワークの接続/システム初期設定』『Windows ネットワークプリンターを設定する』を参照してください。

1. インストーラー画面でインストール実行ボタンをクリックします。

RPCS、RP-GL/2 ドライバーは [プリンタードライバー] をクリックします。

PostScript 3 ドライバーは、[プリンタードライバー (オプション)] をクリックし、目的のドライバーをクリックします。

2. [使用許諾] ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意するときは[同意します]を選択し、[次へ]をクリックします。
3. 使用する機器のチェックボックスにチェックを付けます。
4. [ポート:] を選択し、[ポート'の設定の変更]にある[追加]をクリックします。
5. [ネットワークプリンター] を選択し、[OK] をクリックします。
6. ネットワークツリーで、プリントサーバーとして使用するコンピューターの名前をダブルクリックします。
7. インストールするプリンタードライバーを選択し、[OK] をクリックします。
8. [ポート:] に選択したプリンターのポートが表示されていることを確認します。
9. 必要に応じて、ユーザーコードや通常使用するプリンター、共有プリンターを設定します。
10. [完了] をクリックします。
[プリンタードライバー (オプション)] からインストールしたときは、ここでインストールが完了します。
11. [プリンタードライバーの導入] ダイアログでファイルのコピーが完了したら、[OK] をクリックします。
12. [オプション構成] タブで機器のオプション構成や用紙を設定します。
インストール後もオプション構成や用紙の設定はできます。詳しくは、P.30「オプション構成や用紙の設定をする」を参照してください。
13. 設定が完了したら、[OK] をクリックします。
14. インストールが完了したら、パソコンを再起動させるタイミングを選択し、[完了] をクリックします。

↓ 補足

- Windows 8/8.1/10 または Windows Server 2012/2012 R2 のときは、[自動再生] ダイアログが数秒間しか表示されません。[自動再生] ダイアログが消えたときは、以下の手順で CD-ROM を再生してください。
 - Windows 8、Windows Server 2012
 1. チャームバーで [検索] をクリックし、[コンピューター] をクリックします。
 2. 付属の CD-ROM がセットされているドライブをダブルクリックし、Setup.exe を起動します。
 - Windows 8.1、Windows Server 2012 R2

1. デスクトップ画面で [スタート] ボタンを右クリックし、[エクスプローラー] をクリックします。
 2. 付属の CD-ROM がセットされているドライブをダブルクリックし、Setup.exe を起動します。
- Windows 10
 1. デスクトップ画面で [スタート] ボタンを右クリックし、[エクスプローラー] をクリックします。
 2. 付属の CD-ROM がセットされているドライブをダブルクリックし、Setup.exe を起動します。
 - Ridoc IO Navi ポートで本機を接続しているネットワークプリンターを使用するときは、クライアントからの代行印刷、並行印刷できません。
 - ネットワークプリンターを使用するときは、クライアントに印刷通知されないことがあります。

USB 接続環境でプリンタードライバーをインストールする

本機とパソコンを USB ケーブルで接続し、プリンタードライバーをインストールする方法について説明します。

★ 重要

- 管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。

↓ 補足

- ドライバーのインストール中に、[ユーザーアカウント制御] ダイアログが表示されたときは、[続行] または [はい] をクリックします。
- ドライバーのインストール中に、[Windows セキュリティ] ダイアログが表示されたときは、[このドライバー ソフトウェアをインストールします] をクリックします。
- 「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」というメッセージが表示されたときは、P.39 「インストールに失敗したとき」を参照してください。

Windows Server 2003/2003 R2

USB ケーブルを初めて使用したとき、[新しいハードウェアの検出ウィザード] が表示され、「USB 印刷サポート」が自動的にインストールされます。

1. 本機とパソコンを USB ケーブルで接続します。
2. [新しいハードウェアの検出ウィザード] で [一覧または特定の場所からインストールする (詳細)] をチェックし、[次へ] をクリックします。
3. [次の場所で最適のドライバを検索する] の [次の場所を含める] をチェックし、[参照] をクリックしてドライバーの収録先を指定します。

ここではドライバーの INF ファイルを指定します。

CD-ROM ドライブが D:¥のときは、以下のフォルダーに収録されています。

- RPCS
32bit 版 D:¥X86¥DRIVERS¥RPCS¥X86¥DISK1
64bit 版 D:¥X64¥DRIVERS¥RPCS¥X64¥DISK1
- RP-GL/2
32bit 版 D:¥X86¥DRIVERS¥RPGL2¥X86¥DISK1
64bit 版 D:¥X64¥DRIVERS¥RPGL2¥X64¥DISK1
- PostScript 3

32bit 版 D:\¥X86¥DRIVERS¥PS¥X86¥DISK1

64bit 版 D:\¥X64¥DRIVERS¥PS¥X64¥DISK1

4. [次へ] をクリックします。

ドライバーのインストールが開始されます。

5. [完了] をクリックします。

インストールが正常に終了すると、「USBxxx」を [印刷するポート] に指定したプリンターが [プリンタと FAX] ウィンドウに作成されます。

Windows Vista、Windows Server 2008

1. 本機とパソコンを USB ケーブルで接続します。

2. [ドライバソフトウェアを検索してインストールします (推奨)] をクリックします。

3. 使用するプリンタードライバーを選択し、[次へ] をクリックします。

インストールを開始します。

4. [閉じる] をクリックします。

インストールが正常に終了すると、「USBxxx」を [印刷するポート] に指定したプリンターが [プリンタ] ウィンドウに作成されます。

Windows 7/8/8.1/10、Windows Server 2008 R2/2012/2012 R2

1. [デバイスとプリンター] ウィンドウを開きます。

- Windows 7、Windows Server 2008 R2

[スタート] メニューで [デバイスとプリンター] をクリックします。

- Windows 8/8.1、Windows Server 2012/2012 R2

チャームバーで [設定] をクリックし、[コントロールパネル] をクリックします。[コントロールパネル] ウィンドウが表示されたら、[デバイスとプリンターの表示] をクリックします。

- Windows 10

[スタート] ボタンを右クリックし、[コントロールパネル] をクリックします。[コントロールパネル] ウィンドウが表示されたら、[デバイスとプリンターの表示] をクリックします。

2. 任意の機器アイコンをクリックし、[プリントサーバープロパティ] をクリックします。

3. [ドライバー] タブをクリックし、[追加...] をクリックします。

4. [次へ] をクリックします。

5. [x64] (64bit)または [x86] (32bit) にチェックを付け、[次へ] をクリックします。

6. [ディスク使用...] をクリックします。

7. [参照...] をクリックして、ドライバーの収録先を指定します。

ここではドライバーの INF ファイルを指定します。

CD-ROM ドライブが D:¥のときは、以下のフォルダーに収録されています。

- RPCS

32bit 版 D:¥X86¥DRIVERS¥RPCS¥X86¥DISK1

64bit 版 D:¥X64¥DRIVERS¥RPCS¥X64¥DISK1

- RP-GL/2

32bit 版 D:¥X86¥DRIVERS¥RPGL2¥X86¥DISK1

64bit 版 D:¥X64¥DRIVERS¥RPGL2¥X64¥DISK1

- PostScript 3

32bit 版 D:¥X86¥DRIVERS¥PS¥X86¥DISK1

64bit 版 D:¥X64¥DRIVERS¥PS¥X64¥DISK1

8. [OK] をクリックします。

9. 使用する機器を選択し、[次へ] をクリックします。

10. [完了] をクリックします。

11. [閉じる] をクリックして、プリントサーバードプロパティのウィンドウを閉じます。

12. 本機の電源が切れていることを確認します。

13. 本機とパソコンを USB ケーブルで接続します。

14. 本機の電源を入れます。

オプション構成や用紙の設定をする

パソコンと本機の間で双方向通信が働いていると、本機に装着されているオプション、セットされている用紙サイズや本機の状態を、パソコン側で自動的に取得できます。

双方向通信が働いていないときは、手動で本機に装着されているオプションや、セットされている用紙の情報をパソコンで設定します。

★重要

- プリンタードライバーを使用するときに、双方向通信または手動でオプションを設定する場合は、管理者権限が必要です。Administrator グループのメンバーとしてログオンしてください。

双方向通信を有効にする

双方向通信を有効にするには、下記の設定、条件が必要です。

ネットワーク接続

- 以下のポートのいずれかを使用している。
 - Standard TCP/IP ポート
 - Ridoc IO Navi ポートの TCP/IP プロトコル
 - Ridoc IO Navi ポートの IPP プロトコル (IPP ポート名に IP アドレスを含んでいる)
- プリンタードライバーのプロパティ画面で、[ポート] タブにある [双方向サポートを有効にする] にチェックが入っていて、[プリンタプールを有効にする] にチェックが入っていない

ローカル接続

- パソコンが双方向通信に対応している
- 本機とパソコンが双方向通信に対応したインターフェースケーブルか、USB インターフェースケーブルで接続されている
- プリンタードライバーのプロパティ画面で、[ポート] タブにある [双方向サポートを有効にする] にチェックが入っている

手動でオプション構成や用紙を設定する

手動で本機に装着されているオプションや、セットされている用紙の情報をパソコンで設定する方法を説明します。

RPCS、PostScript 3 プリンタードライバ

1. プリンターウィンドウを開きます。

- Windows Server 2003/2003 R2 :
[スタート] ボタンから [プリンタと FAX] をクリックします。
- Windows Vista、Windows Server 2008 :
[スタート] ボタンから [コントロールパネル] をクリックします。[ハードウェアとサウンド] のカテゴリーの中から、[プリンタ] をクリックします。
- Windows 7、Windows Server 2008 R2 :
[スタート] ボタンから [デバイスとプリンター] をクリックします。
- Windows 8/8.1、Windows Server 2012/2012 R2 :
デスクトップ画面のチャームバーで [設定] をクリックし、[コントロールパネル] をクリックします。[コントロールパネル] ウィンドウが表示されたら、[デバイスとプリンターの表示] をクリックします。
- Windows 10 :
[スタート] ボタンを右クリックし、[コントロールパネル] をクリックします。[コントロールパネル] ウィンドウが表示されたら、[デバイスとプリンターの表示] をクリックします。

2. プリンターのプロパティを開きます。

- Windows Vista、Windows Server 2003/2003 R2/2008 :
プリンターのアイコンを右クリックし、[プロパティ] をクリックします。
- Windows 7/8/8.1/10、Windows Server 2008 R2/2012/2012 R2 :
プリンターのアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] をクリックします。

オプション設定を促すダイアログが表示されたら、[OK] をクリックします。

3. [オプション構成] タブをクリックします。

[オプション構成] タブの項目がグレー表示になっていて選択できないときは、双方向通信が働いています。オプションの設定は必要ありません。

4. [オプション選択] グループで、取り付けたオプションのボックスにチェックを付けます。

5. [給紙部設定の変更...] をクリックします。

6. 給紙部の設定を変更します。

- RPCS ドライバ :
給紙部ごとに用紙のサイズ、種類、セット方向、自動給紙部選択の対象/対象外を設定し、[給紙部/サイズ設定の変更] をクリックします。
- PostScript 3 ドライバ :

給紙部ごとに用紙サイズを設定し、[給紙部／サイズ設定の変更] をクリックします。

7. [OK] をクリックします。

8. [適用] をクリックします。

9. [OK] をクリックし、プロパティを閉じます。

2

RP-GL/2 プリンタードライバー

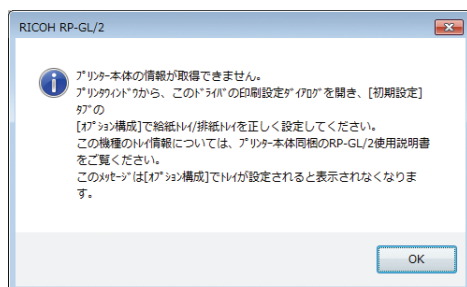
1. プリンターウィンドウを開きます。

- Windows Server 2003/2003 R2 :
[スタート] ボタンから [プリンタと FAX] をクリックします。
- Windows Vista、Windows Server 2008 :
[スタート] ボタンから [コントロールパネル] をクリックします。[ハードウェアとサウンド] のカテゴリーの中から、[プリンタ] をクリックします。
- Windows 7、Windows Server 2008 R2 :
[スタート] ボタンから [デバイスとプリンター] をクリックします。
- Windows 8/8.1、Windows Server 2012/2012 R2 :
デスクトップ画面のチャームバーで [設定] をクリックし、[コントロールパネル] をクリックします。[コントロールパネル] ウィンドウが表示されたら、[デバイスとプリンターの表示] をクリックします。
- Windows 10 :
[スタート] ボタンを右クリックし、[コントロールパネル] をクリックします。[コントロールパネル] ウィンドウが表示されたら、[デバイスとプリンターの表示] をクリックします。

2. プリンターの印刷設定を開きます。

- Windows Server 2003/2003 R2 :
プリンターのアイコンをクリックし、[ファイル] メニューから [印刷設定] をクリックします。
- Windows 7/8/8.1/10、Windows Server 2008 R2/2012/2012 R2 :
プリンターのアイコンを右クリックし、[印刷設定] をクリックします。

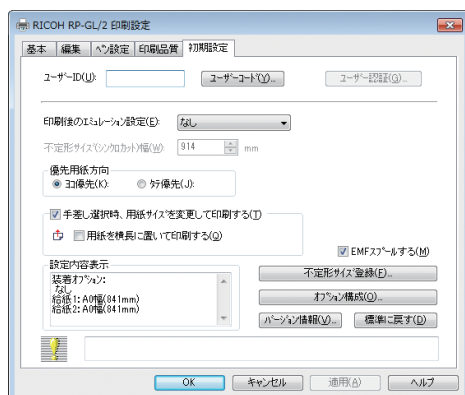
3. 初めてオプションセットアップするとき、または給紙部設定をしないでオプションセットアップを終了するとき、確認のメッセージが表示されます。



2

4. [OK] をクリックします。
5. [初期設定] タブの [オプション構成...] をクリックします。

プリンタドライバの設定画面を表示し、[初期設定] タブの表示画面で [オプション構成] から [オプション構成] ダイアログが表示されないときは、双方向通信が働いています。オプションセットアップは必要ありません。



6. [デバイスセットアップ] ボックスで、取り付けたオプションを設定します。
- [ロール設定] ボックスで、ロール紙のサイズを設定します。



7. [OK] をクリックし、[オプション構成...] ダイアログを閉じます。

8. [OK] をクリックし、印刷設定を閉じます。

↓ 補足

- 設定項目の機能説明など、プリンタードライバのヘルプを参照してください。

HDI ドライバーをインストールする

ここでは、Windows 7 を例として説明しています。Windows Vista/8/8.1/10、Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2/2012/2012 R2 でも基本的な操作は同じです。

★重要

- HDI ドライバーをインストールするには、あらかじめ AutoCAD シリーズがインストールされている必要があります。
- 管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。
- ドライバーのインストール中に、[ユーザーアカウント制御] ダイアログが表示されたときは、[続行] または [はい] をクリックします。詳細は Microsoft のホームページを参照してください。

2

1. この使用説明書以外のアプリケーションを終了します。
2. [スタート] ボタンから [コントロールパネル] をクリックします。
3. [ハードウェアとサウンド] をクリックします。
4. [Autodesk プロッタ管理] をダブルクリックします。
[Autodesk プロッタ管理] は AutoCAD シリーズがインストールされているときに表示されます。
5. [プロッタを追加ウィザード] をダブルクリックします。
6. [次へ] をクリックします。
7. [次へ] をクリックします。
8. [マイコンピュータ] を選択し、[次へ] をクリックします。
9. [ディスクを所有...] をクリックします。
10. 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。
[自動再生] ダイアログが表示されたら、[閉じる] をクリックします。
11. お使いの AutoCAD バージョンに応じたプリンタードライバーを選択し、[開く] をクリックします。

CD-ROM ドライブが D:¥ のとき、各プリンタードライバーは以下のフォルダに収録されています。

- AutoCAD 2007、AutoCAD LT 2007
D:¥X86¥DRIVERS¥HDI¥AC2007
- AutoCAD 2008、AutoCAD LT 2008(32bit OS のみ対応)、AutoCAD 2009、AutoCAD LT 2009(32bit OS のみ対応)
32-bit OS D:¥X86¥DRIVERS¥HDI¥AC2008¥X86

64-bit OS D:\¥X64¥DRIVERS¥HDI¥AC2008¥X64

- AutoCAD 2010、AutoCAD LT 2010

32-bit OS D:\¥X86¥DRIVERS¥HDI¥AC2010¥X86

64-bit OS D:\¥X64¥DRIVERS¥HDI¥AC2010¥X64

- AutoCAD 2011、AutoCAD LT 2011、AutoCAD 2012、AutoCAD LT 2012

32-bit OS D:\¥X86¥DRIVERS¥HDI¥AC2011¥X86

64-bit OS D:\¥X64¥DRIVERS¥HDI¥AC2011¥X64

- AutoCAD 2013、AutoCAD LT 2013、AutoCAD 2014、AutoCAD LT 2014

32-bit OS D:\¥X86¥DRIVERS¥HDI¥AC2013¥X86

64-bit OS D:\¥X64¥DRIVERS¥HDI¥AC2013¥X64

- AutoCAD 2015、AutoCAD LT 2015

32-bit OS D:\¥X86¥DRIVERS¥HDI¥AC2015¥X86

64-bit OS D:\¥X64¥DRIVERS¥HDI¥AC2015¥X64

インストールするドライバーとお使いの AutoCAD のバージョンが一致しているか確認してください。一致していないときはエラーメッセージが表示されます。その場合は、HDI ドライバーの「Readme」ファイルを参照してください。

12. [製造元] でお使いの機種の製造元を、[モデル] でお使いの機種名を選択し、[次へ] をクリックします。

13. [プロッタを追加ウィザード] にしたがって、インストールを完了してください。

プリンタードライバーの各画面の説明や、いろいろな印刷方法については、オンラインヘルプを参照してください。オンラインヘルプを表示させるには、プリンタードライバーの設定画面の [ヘルプ] ボタンをクリックします。

↓ 補足

- インストールの途中で AutoCAD のバージョンと異なるバージョンのドライバーを指定した場合、インストール作業が終了していても、正しいバージョンのドライバーをインストールできない場合があります。この場合は異なるバージョンのドライバーを削除してください。削除方法については、HDI ドライバーの「Readme」ファイルを参照してください。

3. スキャナードライバーをインストールする

TWAIN ドライバーのインストール方法を説明します。

本書では特にことわりのないかぎり、Windows 7 を例に説明します。

TWAIN ドライバーをインストールする

TWAIN スキャナーを使用するには、付属の CD-ROM に収録されている TWAIN ドライバーをクライアントコンピューターにインストールします。

3

1. インストーラー画面で [TWAIN ドライバー (スキャナードライバー)] をクリックします。
2. TWAIN ドライバーのインストーラーが起動します。メッセージにしたがって操作してください。
3. インストールが完了したときに、クライアントコンピューターを再起動するように指示するメッセージが表示されることがあります。そのとき、クライアントコンピューターを再起動してから操作を続けてください。

↓ 補足

- Windows 8/8.1/10 または Windows Server 2012/2012 R2 のときは、[自動再生] ダイアログが数秒間しか表示されません。[自動再生] ダイアログが消えたときは、以下の手順で CD-ROM を再生してください。
 - Windows 8、Windows Server 2012
 1. チャームバーで [検索] をクリックし、[コンピューター] をクリックします。
 2. 付属の CD-ROM がセットされているドライブをダブルクリックし、Setup.exe を起動します。
 - Windows 8.1、Windows Server 2012 R2
 1. デスクトップ画面で [スタート] ボタンを右クリックし、[エクスプローラー] をクリックします。
 2. 付属の CD-ROM がセットされているドライブをダブルクリックし、Setup.exe を起動します。
 - Windows 10
 1. デスクトップ画面で [スタート] ボタンを右クリックし、[エクスプローラー] をクリックします。
 2. 付属の CD-ROM がセットされているドライブをダブルクリックし、Setup.exe を起動します。

- インストールが終わると、[スタート] メニューの [プログラム]、[すべてのプログラム]、[アプリ] または [すべてのアプリ] に使用する機器名のフォルダーが作成され、ここからヘルプを表示できます。
- 「Readme.txt」には、TWAIN スキャナー使用するときの注意事項などが書かれているので、使用する前に必ずお読みください。

TWAIN 対応アプリケーションをインストールする

3

TWAIN スキャナーを使用するには、Ridoc Desk Navigator などの TWAIN 対応アプリケーションをクライアントコンピューターにインストールします。

Ridoc Desk Navigator について詳しくは、『本機をご利用にあたって』「ダウンロードできるソフトウェア」を参照してください。

4. 困ったときは

ドライバーが正しくインストールできない、USB 接続がうまくいかないときの対処方法を説明します。

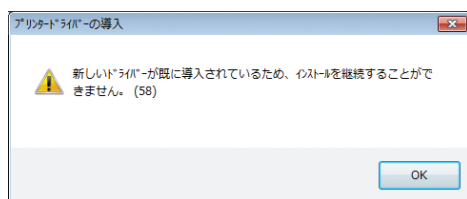
インストールに失敗したとき

ドライバーのインストールに失敗やエラーメッセージが表示されたときの対処方法を説明します。

おすすめインストールに失敗したときは、P.17 「Standard TCP/IP ポートを使用する」を参照して再度インストールしてください。

また、下記のような (58) のメッセージ、または (34) のメッセージが表示されたときは、オートランプログラムによるインストールはできません。[プリンターの追加] または [プリンタのインストール] でインストールしてください。

(58) のメッセージは、インストールされているプリンタードライバーよりも、古いバージョンのプリンタードライバーをインストールしようとしたときに表示されます。



1. プリンターウィンドウを開きます。

- Windows Server 2003/2003 R2 :
[スタート] ボタンから [プリンタと FAX] をクリックします。
- Windows Vista、Windows Server 2008 :
[スタート] ボタンから [コントロールパネル] をクリックします。[ハードウェアとサウンド] のカテゴリの中から、[プリンタ] をクリックします。
- Windows 7、Windows Server 2008 R2 :
[スタート] ボタンから [デバイスとプリンター] をクリックします。
- Windows 8/8.1、Windows Server 2012/2012 R2 :
デスクトップ画面のチャームバーで [設定] をクリックし、[コントロールパネル] をクリックします。[コントロールパネル] ウィンドウが表示されたら、[デバイスとプリンターの表示] をクリックします。
- Windows 10 :
[スタート] ボタンを右クリックし、[コントロールパネル] をクリックします。[コントロールパネル] ウィンドウが表示されたら、[デバイスとプリンターの表示] をクリックします。

2. [プリンターの追加] または [プリンタのインストール] をクリックします。

3. 画面の指示にしたがってインストールを進めます。

ここではドライバーの INF ファイルを指定します。

CD-ROM ドライブが D:¥のときは、以下のフォルダーに収録されています。

- RPCS
32bit 版 D:¥X86¥DRIVERS¥RPCS¥X86¥DISK1
64bit 版 D:¥X64¥DRIVERS¥RPCS¥X64¥DISK1
- RP-GL/2
32bit 版 D:¥X86¥DRIVERS¥RPGL2¥X86¥DISK1
64bit 版 D:¥X64¥DRIVERS¥RPGL2¥X64¥DISK1
- PostScript 3
32bit 版 D:¥X86¥DRIVERS¥PS¥X86¥DISK1
64bit 版 D:¥X64¥DRIVERS¥PS¥X64¥DISK1

↓ 補足

- Windows Server 2008 R2/2012/2012 R2 のときは、Windows 64bit 版プリンタードライバーをインストールしてください。

USB 接続がうまくいかないとき

USB 接続がうまくいかないときの対処方法を説明します。

状態	原因	対処方法と参照先
本機が自動認識されない。	USB ケーブルの接続に問題があります。	パソコンから USB ケーブルを抜き、本機の主電源をいったん「Stand by」にしたあとに「On」にします。本機が起動したのを確認してから USB ケーブルを接続してください。
本機が自動認識されない。	Windows が自動的に USB 接続の設定をしてしまった。	不正なデバイスとして認識していないか、確認してください。 Windows のデバイスマネージャで、不正なデバイスを削除してください。不正なデバイスは、アイコンに黄色の [!] がついたり、黄色の [?] がついたりしています。必要なデバイスを削除しないよう注意してください。 Windows Server 2003/2003 R2 を使用するときは、デバイスマネージャの「USB (Universal Serial Bus) コントローラ」に不正なデバイスが表示されます。また、Windows Vista/7/8/8.1/10、Windows Server 2008/2008 R2/2012/2012 R2 を使用するときは、デバイスマネージャの「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」に不正なデバイスが表示されます。
USB ケーブルを挿しても本機が認識しない。	本機の電源が切れているときは、USB ケーブルを接続しても本機が認識しないことがあります。	パソコンから USB ケーブルを抜き、本機の主電源をいったん切ってから再度電源を入れます。本機が起動したのを確認してから USB ケーブルを接続してください。

5. OS X にプリンタードライバーをインストールする

本機に同梱の CD-ROM から、PPD ファイルをインストールします。

インストール後は、プリンター固有の機能を使用するために設定します。プリンタードライバーは、OS に付属のプリンタードライバーを使用するため、インストールが必要ありません。

PPD ファイルをインストールする

OS X で印刷するときに、プリンター固有の機能を使用するために PPD ファイルをインストールします。

★重要

• PPD ファイルをインストールするときは、管理者としてログインしてください。

1. CD-ROM の [Mac OS X] フォルダをダブルクリックします。

2. [MacOSX PPD Installer] フォルダをダブルクリックします。

3. パッケージファイルをダブルクリックします。

インストールの確認画面が表示されたときは、[続ける] をクリックします。

4. 「はじめに」が表示されたら [続ける] をクリックします。

5. 「使用許諾契約」が表示されたら、内容をよく読み、[続ける] をクリックします。

6. [同意する] または [同意します] をクリックします。

[同意しない] または [同意しません] をクリックすると、インストールしないで終了します。

7. インストール先の選択画面が表示されたときは、インストール先を選択して、[続ける] をクリックします。



PPD ファイルは以下の場所に自動的にインストールされています。

/ライブラリ/Printers/PPDs/Contents/Resources/

8. **【インストール】** をクリックします。
9. 認証画面が表示されたら、名前とパスワードを入力して、**【OK】** または **【ソフトウェアをインストール】** をクリックします。
10. インストールが完了したら、**【閉じる】** をクリックします。

プリンターを登録する

機器を使用するには、機器をプリントリストに登録します。

電源を入れた機器とコンピューターを接続した状態で以降の作業をしてください。

↓ 補足

- ネットワーク接続、USB 接続を使用するときは、機器とパソコンをケーブルで接続してください。
- プrintリストに多数のプリンタードライバーを組み込んでいると、すべての PPD ファイルが表示されないことがあります。
- Bonjour で接続するときは、エミュレーションが自動では切り替わりません。本機の手操作部から、「エミュレーション検知」を「する」に設定するか、エミュレーションを「PS3」に切り替えてから印刷してください。エミュレーションの切り替えについては、『RP-GL/2&RTIFF』「プリンターの設定」を参照してください。
- OS X の操作方は使用している OS のバージョンによって多少異なります。本書の説明内容を参考に、それぞれのマニュアルを参照して設定してください。

5

1. システム環境設定を起動します。

2. [プリントとスキャン] または [プリンタとスキャナ] をクリックします。

3. 「+」 ボタンをクリックします。

次に [プリンタまたはスキャナを追加...] が表示されたときはクリックします。

4. [デフォルト] をクリックします。

5. 検出された機器の一覧から、使用する機器を選択します。

「種類」の項目で、機器との接続の種類 (USB、Bonjour) が確認できます。

6. [ドライバ:] で使用する機器の PPD ファイルを選択します。

PPD ファイルが自動的に選択されないときは、[プリンタソフトウェアを選択...] または [ソフトウェアを選択...] をクリックし、手動で使用する機器の PPD ファイルを指定します。PPD ファイルの格納先は、P.43 「PPD ファイルをインストールする」を参照してください。

7. [追加] をクリックします。

ドライバーのセットアップ中に [構成...] または [設定] をクリックすると、オプション構成を設定できます。詳しくは、P.46 「オプション構成を設定する」を参照してください。

8. システム環境設定を終了します。

オプション構成を設定する

1. システム環境設定を起動します。
2. [プリントとスキャン] または [プリンタとスキャナ] をクリックします。
3. 機器の一覧から使用する機器を選択し、[オプションとサプライ...] をクリックします。
4. [ドライバ] または [オプション] をクリックします。
5. 必要に応じてオプションの構成を変更します。
6. [OK] をクリックします。
7. システム環境設定を終了します。

↓ 補足

- インストールできるオプションが表示されないときは、PPD ファイルが正しく設定されていません。PPD ファイルが正しく指定されているか確認してください。

6. 付録

ドライバーの更新と削除について説明します。

ドライバーを更新・削除する

★ 重要

- ドライバーを更新、削除するときは管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。
- ドライバーを更新するときは、使用するドライバーと同じ機器・種類のドライバーを選択してください。異なる機器・種類のドライバーを選択し、更新するとエラーの原因になります。

↓ 補足

- ドライバーの更新や削除するときに、[ユーザーアカウント制御] ダイアログが表示されたときは、[続行] または [はい] をクリックします。
- ドライバーの更新や削除するときに、[Windows セキュリティ] ダイアログが表示されたときは、[このドライバー ソフトウェアをインストールします] をクリックします。

6

ドライバーを更新する

プリンタードライバーを更新する

最新のドライバーはリコーのホームページからダウンロードできます。最新のドライバーをダウンロードしてから、以下の手順で更新します。

1. プリンターウィンドウを開きます。

- Windows Server 2003/2003 R2 :
[スタート] ボタンから [プリンタと FAX] をクリックします。
- Windows Vista、Windows Server 2008 :
[スタート] ボタンから [コントロールパネル] をクリックします。[ハードウェアとサウンド] のカテゴリーの中から、[プリンタ] をクリックします。
- Windows 7、Windows Server 2008 R2 :
[スタート] ボタンから [デバイスとプリンター] をクリックします。
- Windows 8/8.1、Windows Server 2012/2012 R2 :

デスクトップ画面のチャームバーで [設定] をクリックし、[コントロールパネル] をクリックします。[コントロールパネル] ウィンドウが表示されたら、[デバイスとプリンターの表示] をクリックします。

- Windows 10 :

[スタート] ボタンを右クリックし、[コントロールパネル] をクリックします。
[コントロールパネル] ウィンドウが表示されたら、[デバイスとプリンターの表示] をクリックします。

2. ドライバーのプロパティを開きます。

- Windows Vista、Windows Server 2003/2003 R2/2008 :

更新するドライバーのアイコンを右クリックし、[プロパティ] をクリックします。

- Windows 7/8/8.1/10、Windows Server 2008 R2/2012/2012 R2 :

更新するドライバーのアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] をクリックします。

3. [詳細設定] タブをクリックします。

4. [新しいドライバー...] をクリックし、[次へ] をクリックします。

5. [ディスク使用...] をクリックします。

6. [参照...] をクリックし、更新するドライバーの収録先を指定します。

7. [OK] をクリックします。

8. 使用する機器を選択し、[次へ] をクリックします。

9. [完了] をクリックします。

10. [適用] をクリックします。

11. [OK] をクリックして、プロパティを閉じます。

PPD ファイル (OS X)、TWAIN ドライバーを更新する

最新のドライバーはリコーのホームページからダウンロードできます。

PPD ファイルや TWAIN ドライバーを更新するときは、旧バージョンのドライバーを削除してから、最新の PPD ファイル、TWAIN ドライバーをインストールしてください。削除については、P.49 「ドライバーを削除する」を参照してください。

ドライバーを削除する

プリンタードライバーを削除する

Windows Server 2003/2003 R2

1. [スタート] メニューから [プリンタと FAX] をクリックします。
2. 削除するドライバーのアイコンを右クリックし、[削除] をクリックします。
3. [ファイル] メニューから、[サーバーのプロパティ] をクリックします。
4. [ドライバ] タブをクリックします。
5. 削除するドライバーを選択し、[削除] をクリックします。
6. 確認ダイアログが表示されたら [はい] をクリックします。
7. [閉じる] をクリックしてプロパティを閉じます。

Windows Vista、Windows Server 2008

6

1. [スタート] メニューからコントロールパネル、[プリンタ] をクリックします。
2. 削除するドライバーのアイコンを右クリックし、[削除] をクリックします。
3. プリンターウィンドウのエリア内で右クリックし、[管理者として実行] をポイントし、[サーバーのプロパティ] をクリックします。
4. 削除するドライバーを選択し、[削除] をクリックします。
5. [ドライバとドライバパッケージを削除する] を選択し、[OK] をクリックします。
6. 確認ダイアログが表示されたら [はい] をクリックします。
7. [削除] をクリックします。
8. [OK] をクリックします。
9. [閉じる] をクリックしてプロパティを閉じます。

Windows 7/8/8.1/10、Windows Server 2008 R2/2012/2012 R2

1. [スタート] メニューから [デバイスとプリンター] をクリックします。

Windows 8/8.1 または Windows Server 2012/2012 R2 のときは、デスクトップ画面のチャームバーで [設定] をクリックし、[コントロールパネル] をクリックします。[コントロールパネル] ウィンドウが表示されたら、[デバイスとプリンターの表示] をクリックします。

Windows 10 のときは [スタート] ボタンを右クリックし、[コントロールパネル] をクリックします。[コントロールパネル] ウィンドウが表示されたら、[デバイスとプリンターの表示] をクリックします。

2. 削除するドライバーのアイコンを右クリックし、[デバイスの削除] をクリックします。
3. 確認ダイアログが表示されたら [はい] をクリックします。
4. 任意のアイコンをクリックし、[プリントサーバープロパティ] をクリックします。
5. [ドライバー] タブをクリックします。
6. [ドライバー設定の変更] が表示されたときはクリックします。
7. 削除するドライバーを選択し、[削除...] をクリックします。
8. [ドライバーとパッケージを削除する] を選択し、[OK] をクリックします。
9. 確認ダイアログが表示されたら [はい] をクリックします。
10. [削除] をクリックします。
11. [OK] をクリックします。
12. [閉じる] をクリックしてプロパティを閉じます。

PPD ファイルを削除する (OS X)

1. システム環境設定を起動します。
2. [プリントとスキャン] または [プリンタとスキャナ] をクリックします。
3. 削除する機器を選択し、「-」ボタンをクリックします。
4. [プリンタを削除] をクリックします。

TWAIN ドライバーを削除する

1. アンインストーラーを起動します。

- Windows Server 2003/2003 R2 :

[スタート] メニューから [コントロールパネル] をクリックし、[プログラムの追加と削除] をクリックします。

- Windows Vista/7、Windows Server 2008/2008 R2 :

[スタート] メニューから [コントロールパネル] をクリックし、[プログラムのアンインストール] をクリックします。

- Windows 8/8.1、Windows Server 2012/2012 R2 :

デスクトップ画面のチャームバーで[設定]をクリックし、[コントロールパネル]をクリックします。[コントロールパネル]ウィンドウが表示されたら、[プログラムのアンインストール]をクリックします。

- Windows 10 :

[スタート] ボタンを右クリックし、[コントロールパネル]をクリックします。
[コントロールパネル]ウィンドウが表示されたら、[プログラムのアンインストール]をクリックします。

2. TWAIN ドライバーを削除します。

- Windows Server 2003/2003 R2 :

1. 削除するドライバーを選択します。
2. [削除] をクリックします。

- Windows Vista/7/8/8.1/10、Windows Server 2008/2008 R2/2012/2012 R2 :

1. 削除するドライバーを選択します。
2. 右クリックし、[アンインストールと変更] または [アンインストール] をクリックします。

3. 画面の指示に従い削除を実行します。

4. アンインストーラーを閉じます。

商標

Adobe、PostScript、PostScript 3 は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。

Autodesk、AutoCAD、AutoCAD LT は、米国および／またはその他の国々における、Autodesk, Inc.、その子会社、関連会社の登録商標または商標です。

Macintosh、Mac OS、OS X、QuickDraw、QuickDraw GX、および TrueType は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。

Microsoft、Internet Explorer、Windows、Windows Server、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

- Internet Explorer の正式名称は次のとおりです。

Microsoft® Internet Explorer® 6

Windows® Internet Explorer® 7

Windows® Internet Explorer® 8

Windows® Internet Explorer® 9

Internet Explorer® 10

Internet Explorer® 11

- Windows Vista の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows Vista® Ultimate

Microsoft® Windows Vista® Business

Microsoft® Windows Vista® Home Premium

Microsoft® Windows Vista® Home Basic

Microsoft® Windows Vista® Enterprise

- Windows 7 の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows® 7 Home Premium

Microsoft® Windows® 7 Professional

Microsoft® Windows® 7 Ultimate

Microsoft® Windows® 7 Enterprise

- Windows 8 の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows® 8

Microsoft® Windows® 8 Pro

Microsoft® Windows® 8 Enterprise

- Windows 8.1 の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows® 8.1

Microsoft® Windows® 8.1 Pro

Microsoft® Windows® 8.1 Enterprise

- Windows 10 の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows® 10 Home

Microsoft® Windows® 10 Pro

Microsoft® Windows® 10 Enterprise

Microsoft® Windows® 10 Education

- Windows Server 2003 の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows Server® 2003 Standard Edition

Microsoft® Windows Server® 2003 Enterprise Edition

- Windows Server 2003 R2 の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows Server® 2003 R2 Standard Edition

Microsoft® Windows Server® 2003 R2 Enterprise Edition

- Windows Server 2008 の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows Server® 2008 Standard

Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise

- Windows Server 2008 R2 の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Standard

Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Enterprise

- Windows Server 2012 の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows Server® 2012 Foundation

Microsoft® Windows Server® 2012 Essentials

Microsoft® Windows Server® 2012 Standard

- Windows Server 2012 R2 の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Foundation

Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Essentials

Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Standard

Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

その他の製品名、名称は各社の商標または登録商標です。

索引

アルファベット

HDI ドライバー	35
IPP ポート	19
LPR ポート	21
OS X で使用するときの注意	9
PostScript 3	6
PPD ファイル (OS X)	43
Ridoc Desk Navigator	38
Ridoc IO Navi ポート	22, 24
RP-GL/2	6
RPCS	6
Standard TCP/IP ポート	17
TWAIN	8, 37
TWAIN 対応アプリケーション	38
USB 接続	41

あ

印刷ポート	13
インストーラー	3
英語環境で使用する時の注意	10
おすすめインストール	15
オプション構成の設定 (プリンタードライ バー)	30, 46

さ

収録ソフトウェア	6
商標	52
スキャナードライバー	37
接続方法の確認	13
双方向通信	30

た

ドライバーの更新	47
ドライバーの削除	47, 49
トラブルシューティング (USB 接続) ...	41

な

ネットワーク接続	13, 17
----------------	--------

は

プリンタードライバ	6, 17, 27
プリンターの登録	45
プリントサーバー	14, 24
プロパティの設定 (プリンタードライバ)	30

ポートの指定	17
--------------	----

や

用紙の設定	30
-------------	----

ら

ローカル接続	14, 27
--------------	--------

MEMO

